

## 29 年産・お米の話しアレコレ

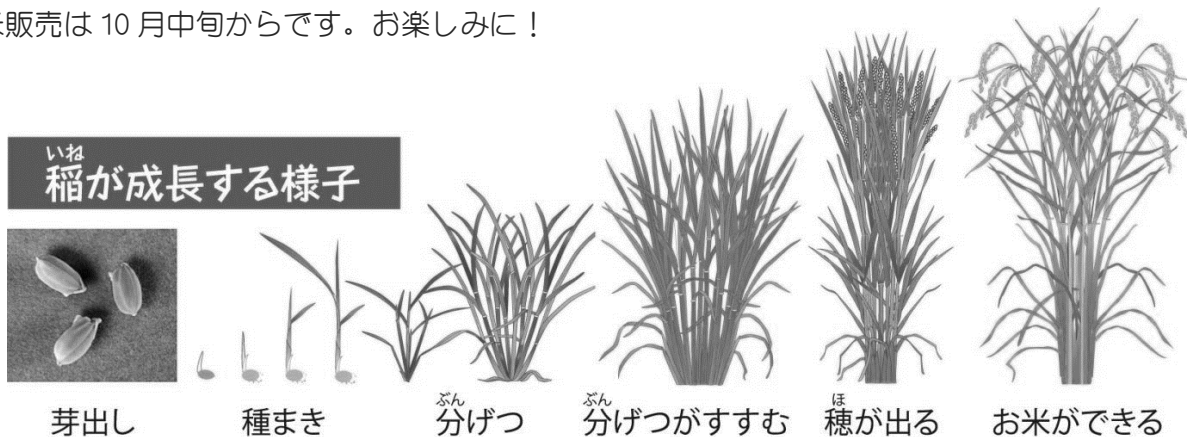
8 月に入って、お子さんたちは夏休みですね！私(女将さん)が子どもだった頃、夏ってこんなに暑かったかな？と思うこの頃です。熱中症にはくれぐれもご注意ください。

6 月が過ぎ、田植えが終わったー！！と思っていたら、もう 8 月。田んぼでは、そろそろ出穂の時期です。出穂(しゅっすい)とは、読んで字のごとく葉っぱだらけだった稲に穂が出る事です。稲の栽培暦からすると、出穂から約 40 日で稲刈り時期を迎えます。

今年、29 年産の米作りは「コシヒカリ」「ミルキークイーン」「みねはるか」「あきだわら」

「ゆめまつり」「ほしじるし」「ヒノヒカリ」「あいちのかおり」「古代米」「もち米」と 10 種類のお米を育てています。古代米は赤、紫、緑と 3 種類を植えました。(もう訳がワカラナイ…)

栽培方法としては、有機無農薬栽培、化学肥料と農薬を抑えた特別栽培、低減農薬栽培の 3 農法。農園メンバーもこれだけの種類を管理するのは大変！本当によくやってくれていると感謝、感謝。新米販売は 10 月中旬からです。お楽しみに！



## 逆・参観日！

6 月のある日、子ども達は参観日の振替休日で学校はお休み！という事で・・・

「働くお父さんを見に行こう！」農園メンバーの奥さんや子ども達の「逆・参観日」を開催しました。農園では、今まで何度も、中高生の農園視察や職場体験を受け入れています。よく考えたら、農園で働くメンバーの子ども達に田植えや稲刈りを見せたことってなかったな…。これじゃイケない！子どもはあっという間に大きくなってしまふのだ。父の日のあった週、働くお父さんの参観日にやって来た子ども達。6 月という事で、農園は田植えの真最中、田植え機に乗ってみたり、トラクターに乗ってみたり、カエルをつかまえたり・・・。大きなマシンに乗って、働くお父さんはカッチョイイのだ(\*^-^\*)



# 夏はなにしてるの？

田植えが終わって、稲刈りまで「夏」の間、お米農家は何をしているの？



夏は草との闘いです！  
田んぼでは、稲もグングン育っていますが、草もグングン育っています。  
畦の草刈りをしたり、田んぼの中の草を引いたり、田んぼの水を見るのも大事な仕事です。

7/19・JA青年部のソフトボール大会に参加。愛知県中から農業青年が集まって夏の決戦です。JA愛知北チームはメンバー11人中、7人が服部農園メンバー。残念ながら1回戦敗退(泣)



8月に入り、守口漬けで有名な、大和屋さんの漬け瓜の出荷が始まりました。6月に定植して、7月芽かき、8月に出荷です。カリモリと言う瓜です。



7月の最終週、祖父江町の「歩荷」さん(平飼自然卵)へ鶏糞堆肥をいただきに…。冬野菜の畑の準備が始まりました。



サマータイムが始まっています。日中はキケンな程暑いので、朝の涼しい内から仕事が始まります。朝5時、朝日と共に仕事開始お昼の1時で仕事終了！



7月14日の大口町豪雨災害に際しまして、皆様よりご心配を頂きました事、深く深く御礼申し上げます。幸い、水の引きも早く大きな被害はありませんでした。大口町の田んぼは元気です！

【私たちのミッション】 10年後、100年後、この町にこの景色を残したい

私たちは地域に根を張り、若い人材の育成と、次世代へつなぐ循環型農業に取り組んでいます。

服部農園有限会社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪 3-158

TEL:0587-81-6688 /FAX:0587-94-1020/Facebook 毎日更新中/http://www.hattorinouen.com

このお便りは服部農園でお米を買って下さっている方、農地のご地主様を含め、ご縁のある方に発行しております。

「次回からは不要だよ」という方はお手数ですがメールかFAXにてお名前をご記入の上、ご一報願います